

年 月 日 提出

動物実験計画書

長岡工業高等専門学校長 殿

所属学科_____

職 名

実験責任者 氏名 印

実験責任者 (教員に限る)	氏名	学科・職名	TEL	講習受講 済・未
実験従事者及び 飼養者* (全員記入のこと)	氏名	学科・職名	TEL	講習受講 済・未
				済・未
				済・未
				済・未
				済・未
研究課題				☐ 新規 ☐ 継続
動物実験の内容（目的、意義等について記載して下さい）				
動物実験の実施予定期間		年 月 日 ～ 年 月 日		
動物実験の実施場所				
動物の飼育場所				

* 6名以上の場合には別紙に同様な書式で書き、添付して下さい。
選択項目 (□印) の適合項目を塗りつぶして (■) 下さい。

動物実験を必要とする理由	☐ 代替手段がない ☐ 代替手段では精度が不十分 ☐ 代替手段では経費が大きすぎる ☐ その他（ ）			
使用動物について 遺 伝 的 保 証 ☐ あり ☐ なし 微生物学的保証 ☐ あり ☐ なし	使用動物種及び系統名	使用動物数	入手先	
動物実験の方法（具体的に詳しく書いて下さい。スペース不足の場合は別紙を添付して下さい）				
想定される痛みのカテゴリの自己判断**		☐ A ☐ B ☐ C ☐ D		
動物の苦痛軽減・排除の方法および保定・拘束の時間について（関連事項を複数選択） ☐ 軽微な苦痛の範囲なので特に処置を講じない ☐ 鎮痛剤・麻酔等を使用する（薬剤名_____） ☐ 重度のストレスや痛みを伴う実験であるが、実験の都合上苦痛の軽減・排除の方法がない （実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること） ☐ 短時間（24 時間以内）の保定・拘束なので特に問題はない （保定・拘束器具名： _____） ☐ 実験の都合上、長時間（2 4 時間以上）の保定・拘束はやむを得ない （保定・拘束器具名： _____） （実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること） ☐ その他（具体的に _____）				
実験終了後の処置（実施する処置を全て選択） ☐ 過剰麻酔による安楽死（薬剤名_____） ☐ 炭酸ガスによる安楽死 ☐ 物理的方法による安楽死（ ☐ 頸椎脱臼， ☐ 断首， 適合項目の ☐ 印を塗りつぶす） ☐ その他（具体的に _____）				
屠体の処理 ☐ 外部業者に委託 ☐ その他（ _____）				

審査年月日： 年 月 日

☐本実験計画は、長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合する。

☐本実験計画は、長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合しない。

意見等：

承認年月日： 年 月 日

☐この計画を承認する 有 効 期 限 年 月 日

☐この計画は承認できない

承認番号：
 長岡工業高等専門学校長 氏名 印

※※は、倫理基準による医学生物学実験処置に関する分類を参照して、判断して下さい。
実験計画申請書は年度ごとに提出してください。